

# 県立川崎図書館 活動評価(平成30年度)の概要

平成30年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。

- 達成 (目標値  $\geq$  100%) ○
- ほぼ達成 (目標値  $\geq$  80%) △
- 未達 (目標値  $<$  80%) ×

## ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

### 【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 利用者満足度	80%	86.6%	108.1%	○
《課題・対応の方向》 ・移転再開館後の「川崎図書館の利用に関するアンケート」（5/28～6/9 「満足」「やや満足」の人数比 82.4%）及び「県立川崎図書館に関するアンケート」（11/12～11/17 「全般的な満足度」平均点を元に算出 90.75%*）から算出した。（*「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人/回答者合計の人数比では、94.7%であった。） ・利用者の満足が得られなかった点について検証を加えた上で、改善に努める。				
② 入館者	130,000人	68,892人	53.0%	×
《課題・対応の方向》 ・平成30年度は、年度途中で移転・再開館した。引き続き移転に関する情報や当館独自の資料やサービスについて一層の周知を図り、利用促進に努める。				
③ 教育・普及事業への参加者	1,000人	1,343人	134.3%	○
《課題・対応の方向》 ・開館60周年記念行事を中心とした多様な講演会等を開催し、参加者を増やすよう取り組む。				
④ インターネットアクセス	3,300,000件	3,787,362件	114.8%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。また、わかりやすく、使いやすいHPを目指していく。				

### 【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤ 活用 (展示または各種メディア等で紹介した資料点数)	1,000点	1,352点	135.2%	○
《課題・対応の方向》				

・今後も、図書館の利用促進につながるような展示の企画、実施に努める。				
⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。		○
《課題・対応の方向》				
・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に取り組む。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 研究成果の公開 (発表・印刷物等)	40件	44件	110.0%	○
《課題・対応の方向》				
・引き続き、職員の研究活動を促し、文献執筆や講師などによる発表の機会を増やすよう努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	70件	273件	288.6%	○
《課題・対応の方向》				
・引き続き、効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩ 施設点検 (だれもが等しく利用できる図書館を目指す。)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》				
・今後も障がい者、高齢者、外国人など、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう、取り組んでいく。				
⑪ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	資料への知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上に努めた。		○
《課題・対応の方向》				
・今後も、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

イ 個別項目（5区分16項目 ⑦は2項目）

【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	600件	598件	99.7%	△
《課題・対応の方向》 ・引き続き、刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
② 資料の棄損を修理した件数 (修理件数/棄損件数)	80%	99.8% (463件/464件)	124.8%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損などの棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③ レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール・文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む。))	6,500件	3,822件	58.8%	×
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努めるとともに、専門相談カウンターの体制を整備し、的確な対応を行う。				
④ 貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	35,000件	23,975件	68.5%	×
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応すると共に、貸出サービスの周知を図り、利用促進に努める。				
⑤ 書庫内資料出納数 (KSP書庫の資料を提供した点数)	45,000点	26,817点	59.6%	×
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに提供できるよう努める。				
⑥ 外部書庫・収蔵庫からの出納件数 (相模原書庫及び野庭収蔵庫からの取寄せ資料冊数)	7,000冊	4,135冊	59.1%	×
《課題・対応の方向》 ・所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに資料提供で				

きるよう努める。				
⑦-1 電子ジャーナル等の利用件数 (利用申し込み)	1,000件	1,461件	146.1%	○
⑦-2 電子ジャーナル等の利用件数 (IEEE、Scopus文献閲覧件数)	3,000件	2,746件	91.5%	△
《課題・対応の方向》 ・調査研究に役立つ電子ジャーナル・データベース等について、周知や多種多様な利用講座等を行う。出前による広報・講習会等も行うことにより、一層の利用促進に努める。				

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数)	300件	426件	142.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスに努める。				
⑨ 県内市町村図書館等への貸出冊数	2,500冊	5,818冊	232.7%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩ 県外図書館への貸出冊数	300冊	194冊	64.7%	×
《課題・対応の方向》 ・魅力的なものづくり技術に関する資料等の収集・提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪ メディア掲載件数 (新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外部メディアに掲載された件数)	65件	77件	118.5%	○
《課題・対応の方向》 ・60周年記念行事をはじめ、魅力的な催事等を企画・実施し、計画的な広報に努める。				
⑫ テーマによる資料展示回数	10回	44回	440.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、当館所蔵資料を活用した展示について、時宜に合うテーマに留意しつつ「ものづくりギャラリー」を中心に開催する。				
⑬ 視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	70件	99件	141.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努める。				

⑭ 県内各地域の産業団体等への広報 実施件数 (商工会議所、商工会や産業団体等へ 出向き、川崎図書館を広報した件数)	200件	143件	71.5%	×
《課題・対応の方向》 ・対象の団体等の範囲を拡大し、出前による当館の周知や講座など、また、該当団体等の持つ広報手段を通じた広報を積極的に行うよう努める。				

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑮ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外 部の研修や講座の参加者延人数)	300人	360人	120.0%	○
《課題・対応の方向》 ・今後も、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				